

平成 28 年度 第 8 次大和市総合計画に関する市民意識調査集計結果(概要)

1. 市民意識調査の概要

(1) 目的

本市では、10 年間にわたる市政運営の基本的な方針を示した「第 8 次大和市総合計画」に基づいて、まちづくりを進めています。このうち、後期基本計画（平成 26～30 年度）における中間目標の達成状況などを確認するため、市民の皆様の意見を伺う調査を次のとおり実施しました。

(2) 調査項目

- ① 大和市への愛着度について (P. 7)
- ② 大和市への定住意向について (P. 7)
- ③ 個別目標の重要度・満足度について (P. 8～P. 9)
- ④ 成果を計る指標について (P. 10～P. 16)
- ⑤ 市が重視すべき取り組みについて (P. 17～P. 27)

(3) 調査の方法

- ① 調査対象
大和市内在住の 16 歳以上の市民 5,000 人
- ② 抽出方法
大和市住民基本台帳に基づく無作為抽出法
※市内 7 地域の人口比に基づき抽出。
- ③ 調査票の配布及び回収方法
郵送配布、郵送回収
- ④ 調査期間
平成 28 年 10 月 21 日（金）～平成 28 年 11 月 4 日（金）
- ⑤ 回収数
2,441 通（有効回収率 48.8%） ※速報集計時点

(4) 地区割り



つきみ野地区	下鶴間(1~1448、2082~2244、5051~5310番地)、 つきみ野(1~8丁目)
中央林間地区	下鶴間(1449~1643、4374~4454番地)、 中央林間(1~6丁目)、 中央林間西(1~7丁目)
南林間・鶴間地区	上草柳(5~9丁目)、下鶴間(1~2丁目)、 下鶴間(1644~2081、2245~3196番地)、 鶴間(1~2丁目)、西鶴間(1~8丁目)、 深見西(5~8丁目)、南林間(1~9丁目)、 林間(1~2丁目)
相模大塚地区	上草柳(番地)、桜森(1~3丁目)
大和地区	上草柳(1~4丁目)、下草柳(番地)、 草柳(1~3丁目)、中央(1~7丁目)、 深見(番地)、深見台(1~4丁目)、 深見西(1~4丁目)、深見東(1~3丁目)、 柳橋(1・4丁目)、大和東(1~3丁目)、 大和南(1~2丁目)
桜ヶ丘地区	上和田(1~2411、2413~2743番地)、 代官(1~4丁目)、福田(1~8丁目)、 福田(2339~2617、5506~5697番地)、 柳橋(2・3・5丁目)
高座渋谷地区	上和田(2412、2744~3499番地)、 渋谷(1~6丁目)、下和田(番地)、 福田(1~2338、2618~5505、5698~6120番地)

(5) 回答者属性別の回収率

【男女別回収率】

性別	発送数	回収数	回収率
男性	2,548	1,002	39.3%
女性	2,452	1,274	52.0%
無回答	—	165	—
合計	5,000	2,441	48.8%

【年代別回収率】

年代	発送数	回収数	回収率
10 歳代	166	56	33.7%
20 歳代	705	199	28.2%
30 歳代	886	358	40.4%
40 歳代	1,038	437	42.1%
50 歳代	692	363	52.5%
60 歳代	716	460	64.2%
70 歳以上	797	545	68.4%
無回答	—	23	—
合計	5,000	2,441	48.8%

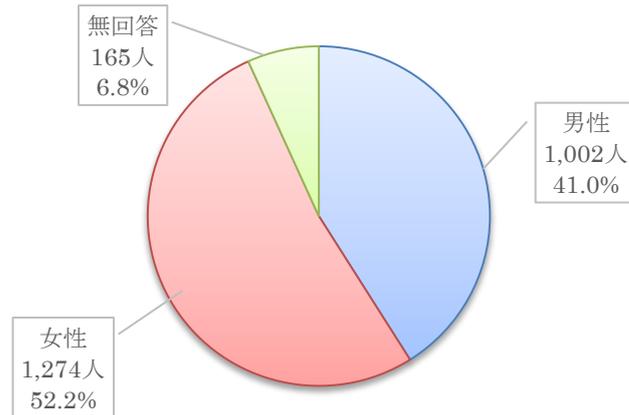
【地域別回収率】

地域	発送数	回収数	回収率
つきみ野 地区	432	229	53.0%
中央林間 地区	570	256	44.9%
南林間・鶴間 地区	1,558	679	43.6%
相模大塚 地区	169	68	40.2%
大和 地区	1,009	417	41.3%
桜ヶ丘 地区	677	301	44.5%
高座渋谷 地区	585	247	42.2%
無回答	—	244	—
合計	5,000	2,441	48.8%

※ 人口比に応じて、年齢別及び地域別に発送

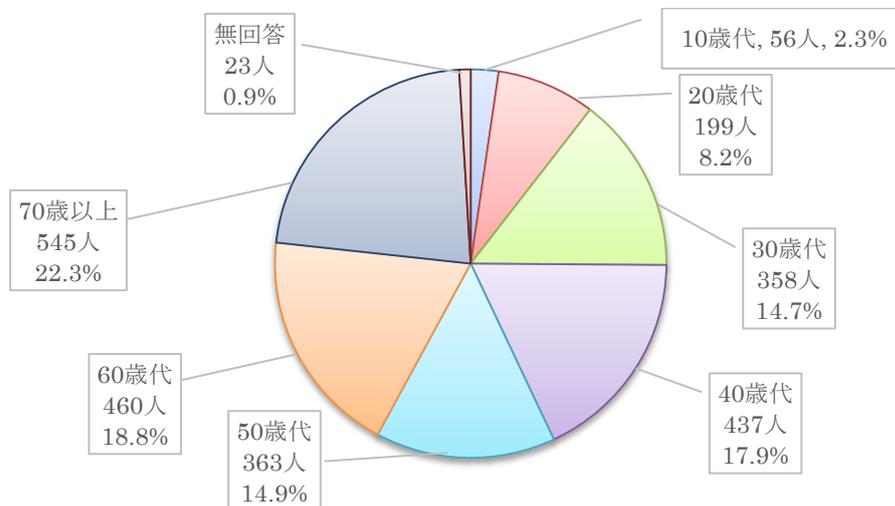
2. 回答者属性のまとめ

(1) 性別



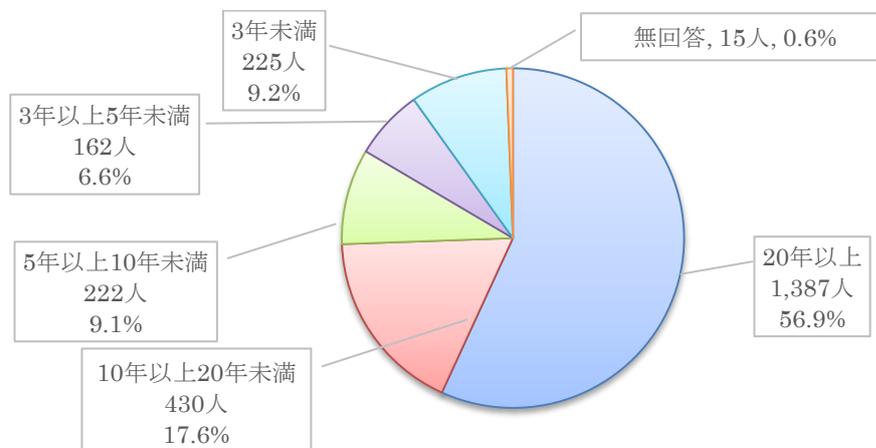
女性回答者が52.2% (1,274人)、男性回答者が41.0% (1,002人) となり、回答者の割合は女性が多くなっています。

(2) 年齢



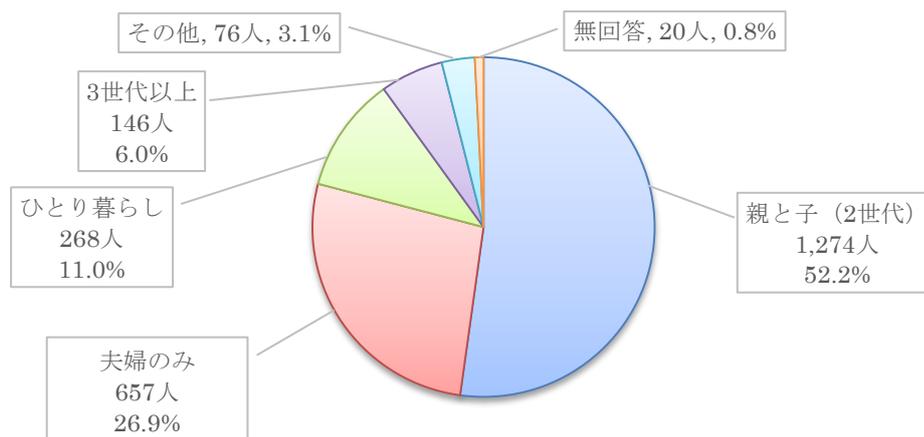
70歳以上が最も多く、22.3% (545人) となり、次いで多い順に60歳代18.8% (460人)、40歳代17.9% (437人)、50歳代14.9% (363人)、30歳代14.7% (358人)、20歳代8.2% (199人)、10歳代2.3% (56人) となっています。

(3) 居住年数



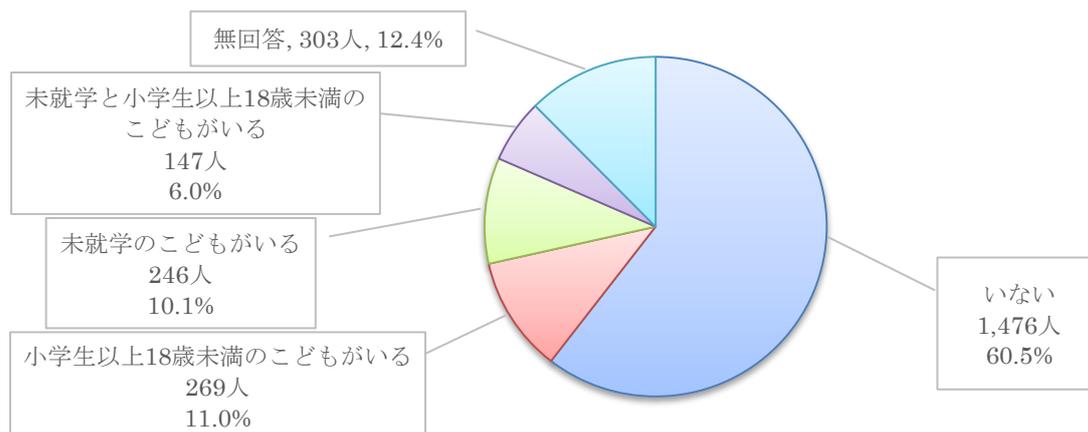
20年以上が最も多く、56.9% (1,387人) となり、次いで多い順に10年以上20年未満17.6% (430人)、3年未満9.2% (225人)、5年以上10年未満9.1% (222人)、3年以上5年未満6.6% (162人) となっています。

(4) 家族構成



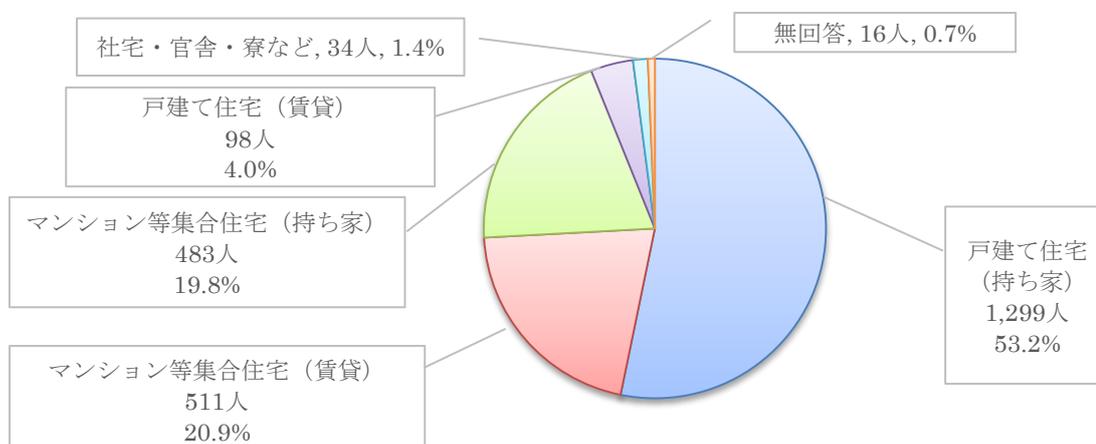
親と子 (2 世代) が最も多く、52.2% (1,274 人) となり、次いで多い順に夫婦のみ 26.9% (657 人)、ひとり暮らし 11.0% (268 人)、3 世代以上 6.0% (146 人) となっています。

(5) こどもの有無



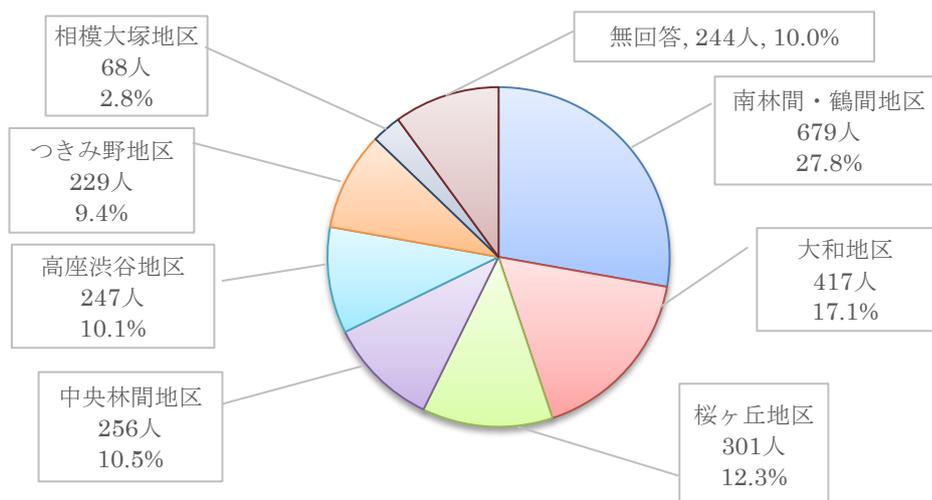
こどもがいないと回答した人が最も多く、60.5% (1,476 人) となり、次いで多い順に小学生以上 18 歳未満のこどもがいる 11.0% (269 人)、未就学のこどもがいる 10.1% (246 人)、未就学と小学生以上 18 歳未満のこどもがいる 6.0% (147 人) となっています。

(6) 居住形態



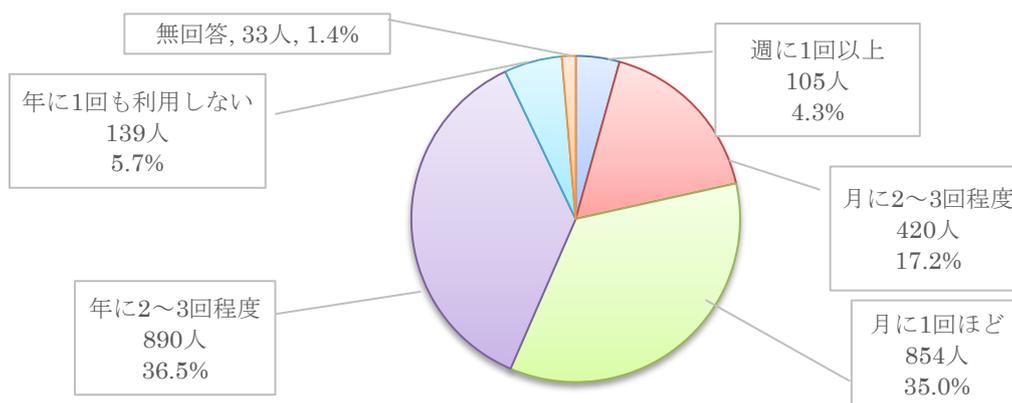
戸建て住宅 (持ち家) が最も多く、53.2% (1,299 人) となり、次いで多い順にマンション等集合住宅 (賃貸) 20.9% (511 人)、マンション等集合住宅 (持ち家) 19.8% (483 人)、戸建て住宅 (賃貸) 4.0% (98 人)、社宅・官舎・寮など 1.4% (34 人) となっています。

(7) 居住地



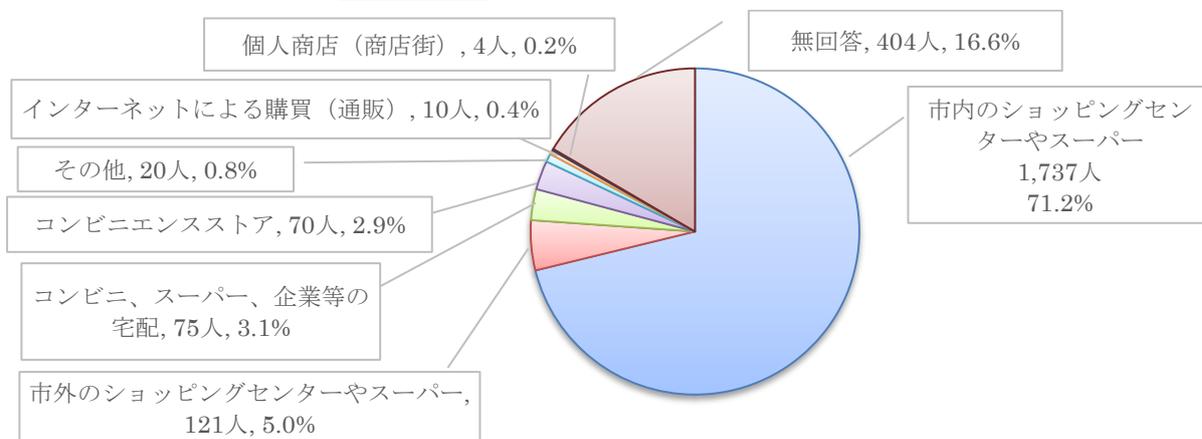
南林間・鶴間地区が最も多く、27.8% (679 人) となり、次いで多い順に大和地区 17.1% (417 人)、桜ヶ丘地区 12.3% (301 人)、中央林間地区 10.5% (256 人)、高座渋谷地区 10.1% (247 人)、つきみ野地区 9.4% (229 人)、相模大塚地区 2.8% (68 人) となっています。

(8) 医療機関の利用頻度 **新規の設問**



年に2~3回程度が最も多く、36.5% (890 人) となり、次いで多い順に月に1回ほど 35.0% (854 人)、月に2~3回程度 17.2% (420 人)、年に1回も利用しない 5.7% (139 人)、週に1回以上 4.3% (105 人) となっています。

(9) 買い物をする場所 **新規の設問**

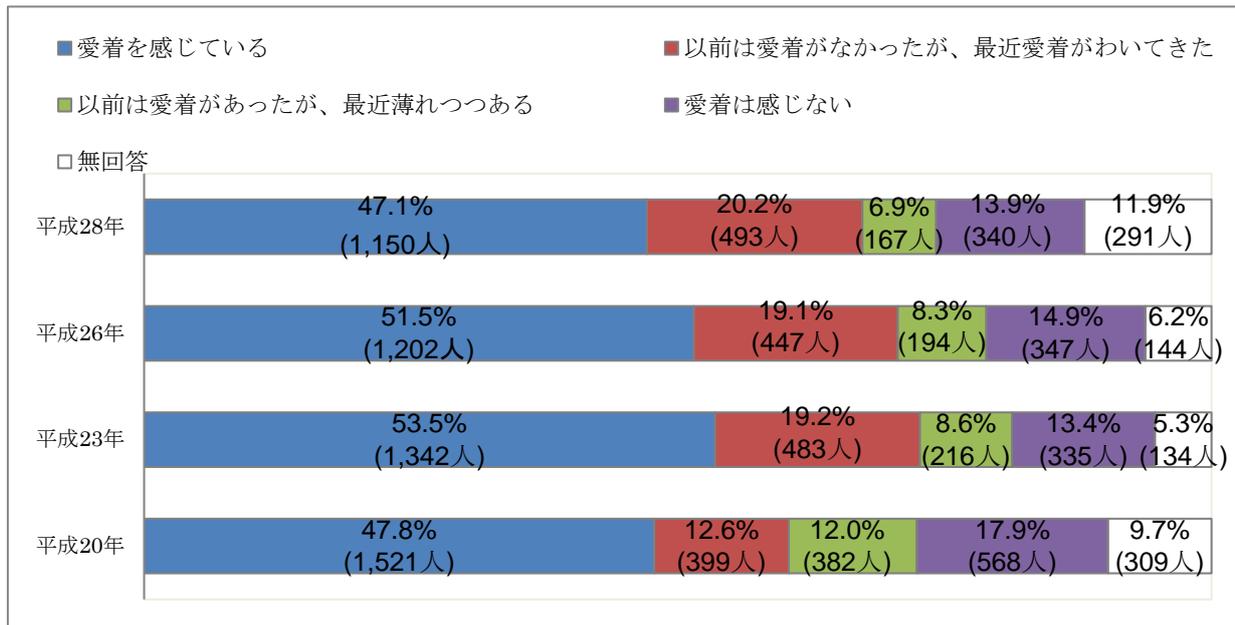


市内のショッピングセンターやスーパーが最も多く、71.2% (1,737 人) となり、次いで多い順に市外のショッピングセンターやスーパー 5.0% (121 人)、宅配 3.1% (75 人)、コンビニエンスストア 2.9% (70 人)、通販 0.4% (10 人)、個人商店 (商店街) 0.2% (4 人) となっています。

3. 調査のまとめ

(1) 大和市への愛着度について

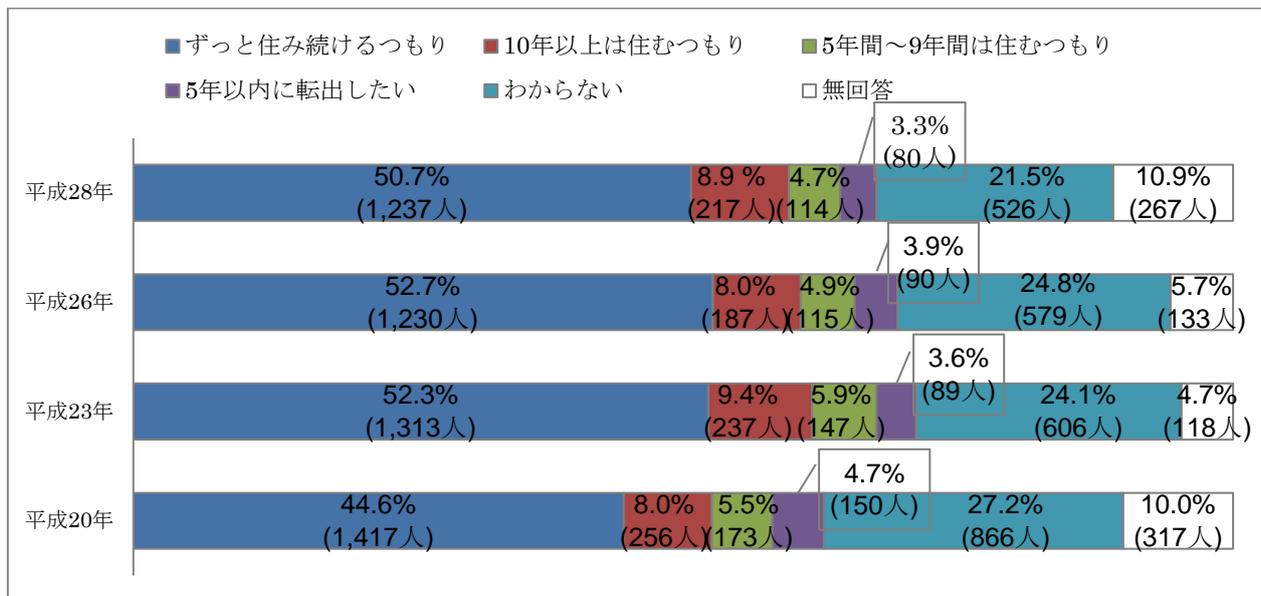
◆全体・経年比較



『愛着を感じる（「愛着を感じている」と「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」の合計）』は67.3%で、平成26年調査結果（70.6%）と比較して3.3ポイント減少していますが、「以前は愛着があったが、最近薄れつつある」「愛着は感じない」の割合も減少していることから、「無回答」の割合が増加していることが要因と考えられます。

(2) 大和市への定住意向について

◆全体・経年比較

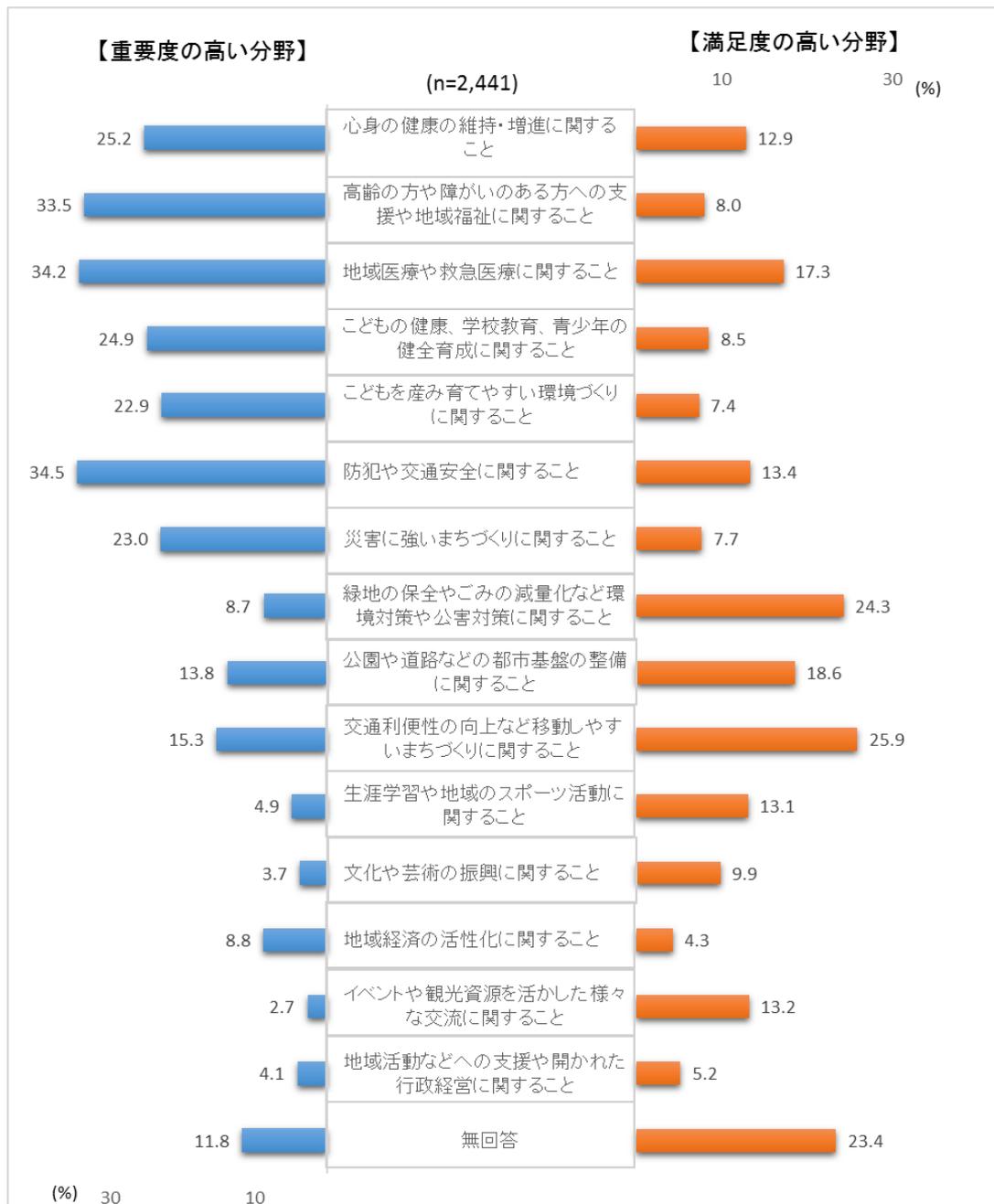


「ずっと住み続けるつもり」は50.7%で、平成26年結果（52.7%）と比較して2.0ポイント減少しています。大和市への愛着度と同様に、無回答の割合が増加していることが原因の一つと考えられます。

(3) 個別目標の重要度・満足度について

次に掲げるまちづくりの分野の中で、重要度の高い分野と満足度の高い分野をそれぞれ3つまで選んでください。

◆全体



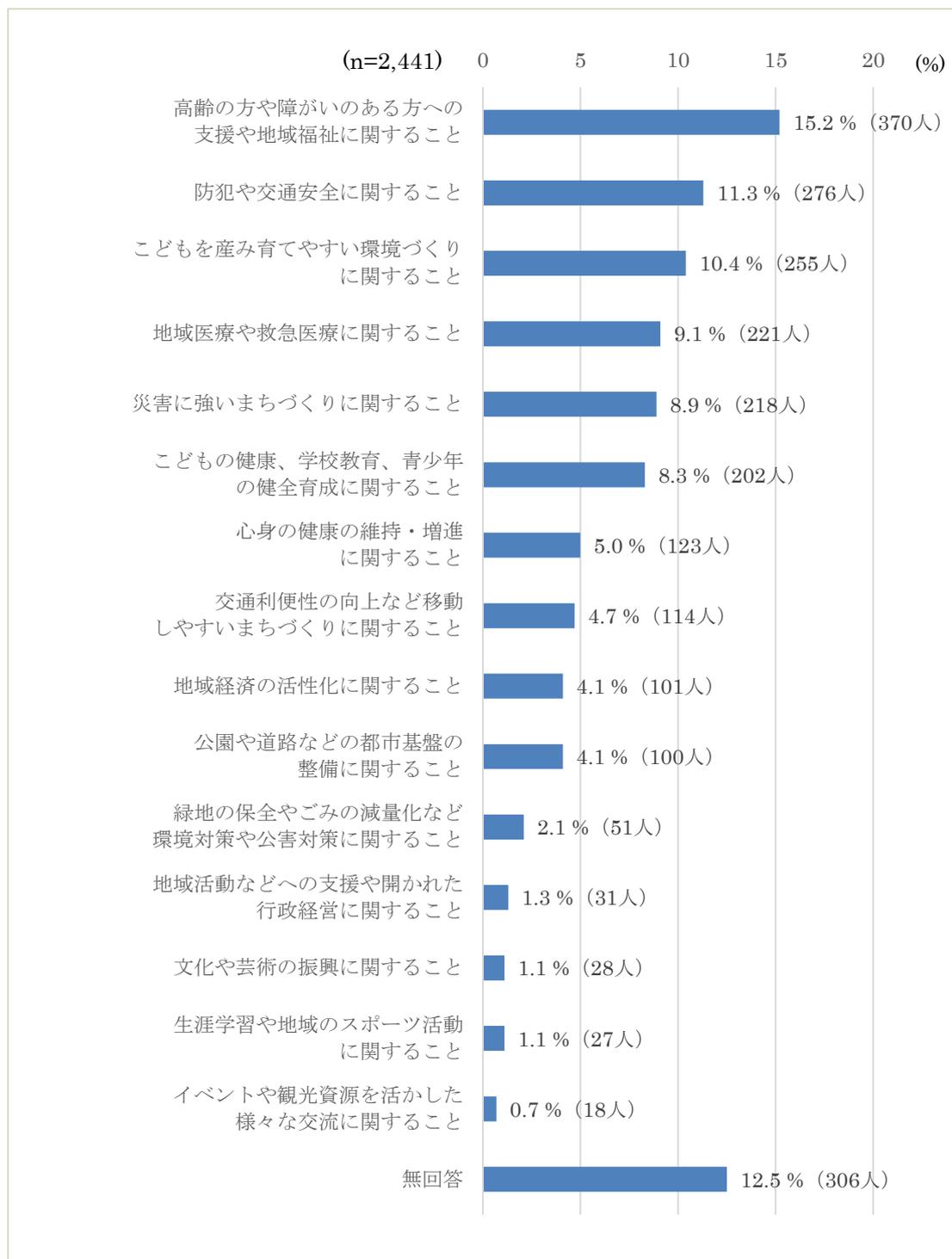
※複数回答であるため、回答の比率 (%) をすべて合計すると 100%を超えます。

表の左側が、重要度の高い分野に関する回答率となっています。多い順に「防犯や交通安全に関すること」(34.5%)、「地域医療や救急医療に関すること」(34.2%)、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(33.5%)と3割を超えています。次いで、「心身の健康の維持・増進に関すること」(25.2%)、「こどもの健康、学校教育、青少年の健全育成に関すること」(24.9%)、となりました。

表の右側が、満足度の高い分野に関する回答率となっています。多い順に「交通利便性の向上など移動しやすいまちづくりに関すること」(25.9%)、「緑地の保全やごみの減量化など環境対策や公害対策に関すること」(24.3%)、となり2割を超えています。次いで、「公園や道路などの都市基盤の整備に関すること」(18.6%)、「地域医療や救急医療に関すること」(17.3%)となりました。

重要度の高い分野のうち、最も重点的に進めて欲しいものを1つ選んでください。

◆全体



最も重点的に進めて欲しいと思う分野について、「高齢の方や障がいのある方への支援や地域福祉に関すること」(15.2%)が最も多く、次いで、「防犯や交通安全に関すること」(11.3%)、「子どもを産み育てやすい環境づくりに関すること」(10.4%)、「地域医療や救急医療に関すること」(9.1%)などの順となっています。

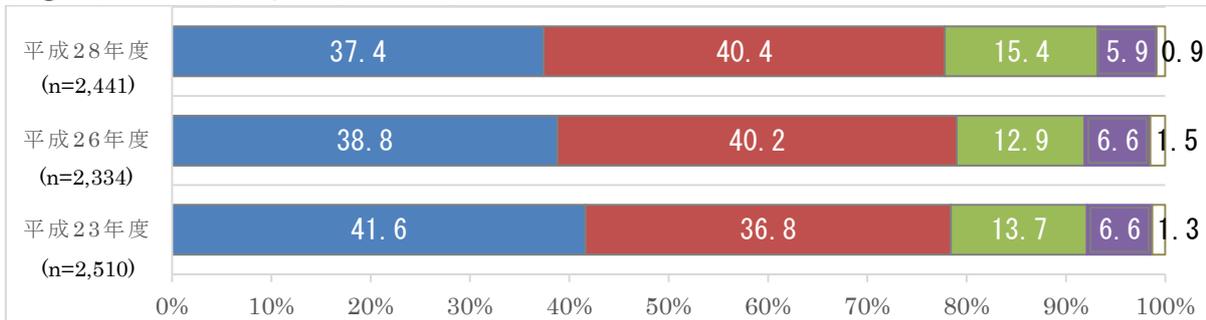
(4) 成果を計る指標について

次あげる項目についてどう思いますか。

◆全体・経年比較

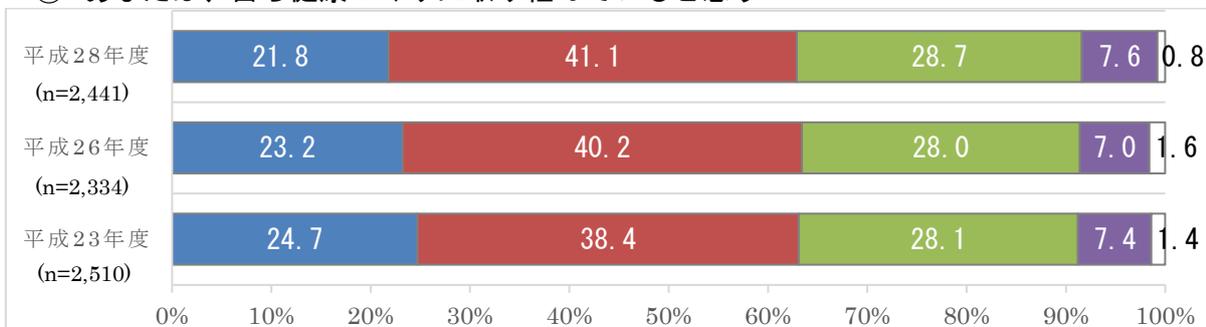
■ 思う ■ あまりそう思わない
■ ややそう思う ■ そう思わない □ 無回答

① あなたは、健康であると思う



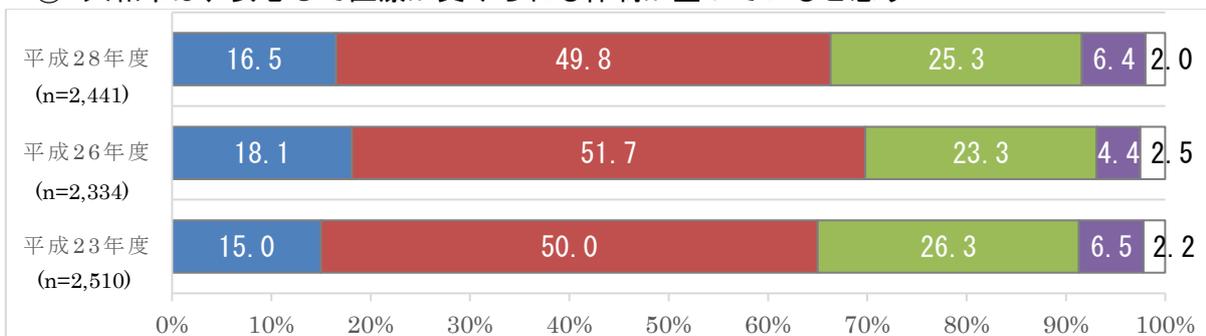
「思う」と「ややそう思う」の合計(以下、『思う』という)は77.8%で、前回結果(79.0%)と比較して▲1.2ポイントとなりました。

② あなたは、自ら健康づくりに取り組んでいると思う



『思う』は62.9%で、前回結果(63.4%)と比較して▲0.5ポイントとなりました。(中間目標値69.0%)

③ 大和市は、安心して医療が受けられる体制が整っていると思う

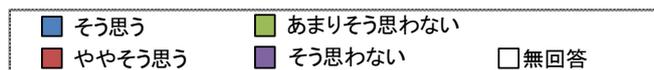


『思う』は66.3%で、前回結果(69.8%)と比較して▲3.5ポイントとなりました。

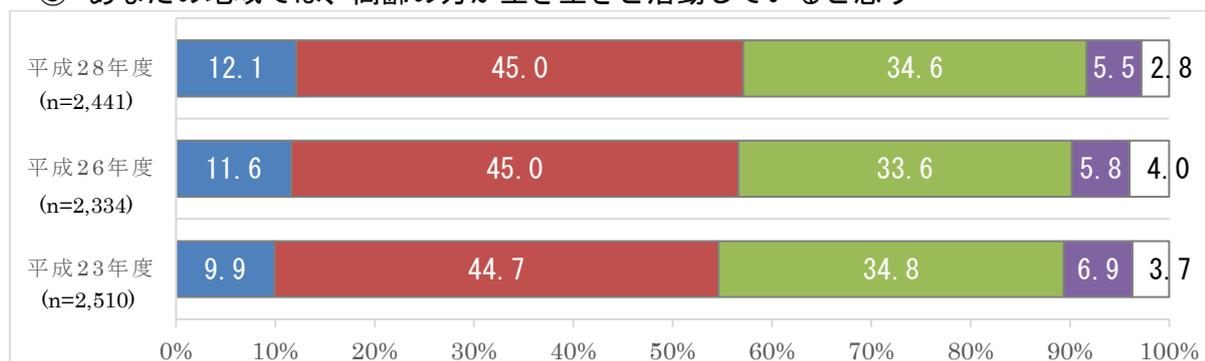
④ あなたの地域では、介護を必要とする人が安心して暮らしていると思う



『思う』は49.4%で、前回結果(46.8%)と比較して+2.6ポイントとなりました。(中間目標値55.0%)

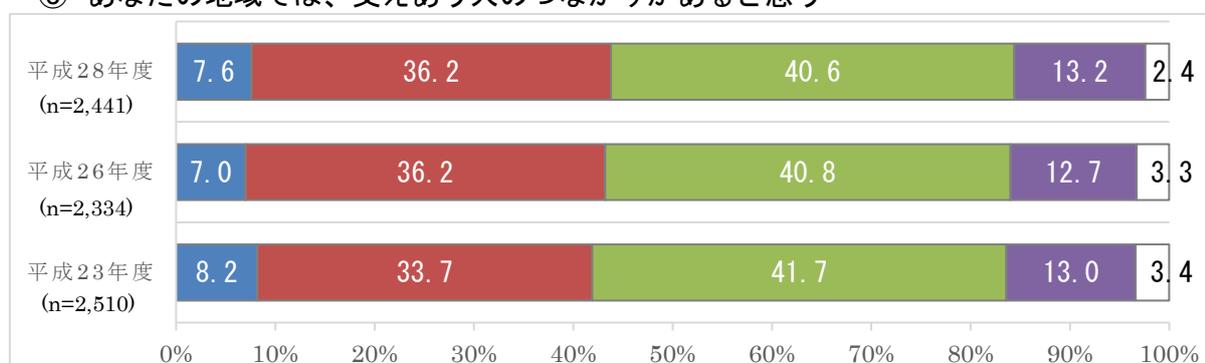


⑤ あなたの地域では、高齢の方が生き生きと活動していると思う



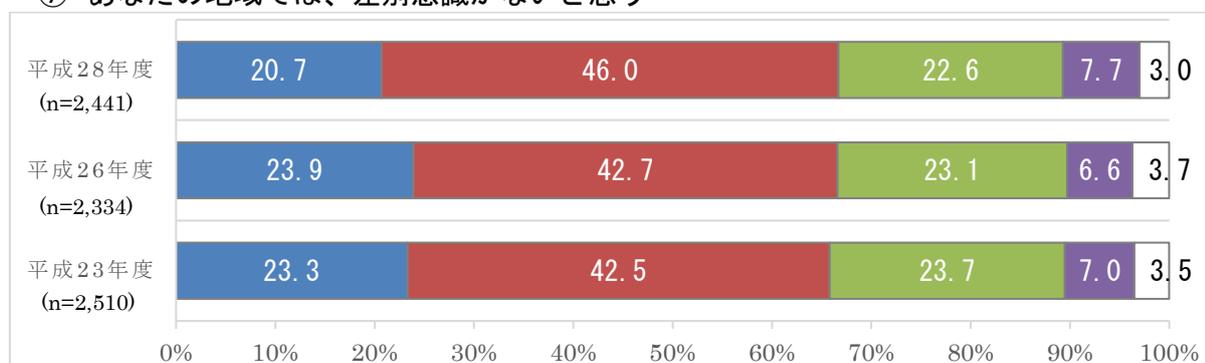
『そう思う』は57.1%で、前回結果(56.6%)と比較して+0.5ポイントとなりました。(中間目標値56.0%)

⑥ あなたの地域では、支えあう人のつながりがあると思う



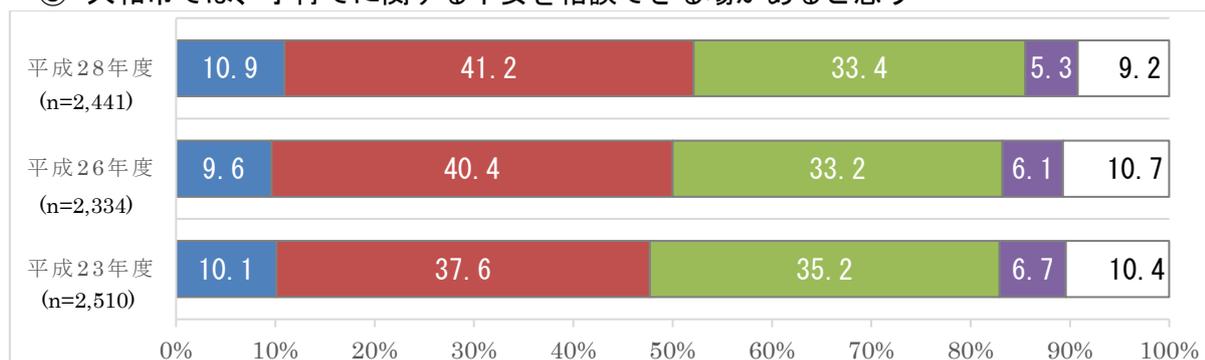
『そう思う』は43.8%で、前回結果(43.2%)と比較して+0.6ポイントとなりました。(中間目標値44.0%)

⑦ あなたの地域では、差別意識がないと思う

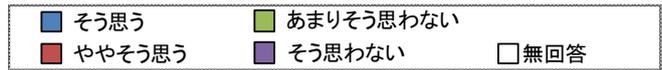


『そう思う』は66.7%で、前回結果(66.6%)と比較して+0.1ポイントとなりました。(中間目標値73.0%)

⑧ 大和市では、子育てに関する不安を相談できる場があると思う



『そう思う』は52.1%で、前回結果(50.0%)と比較して+2.1ポイントとなりました。(中間目標値55.0%)

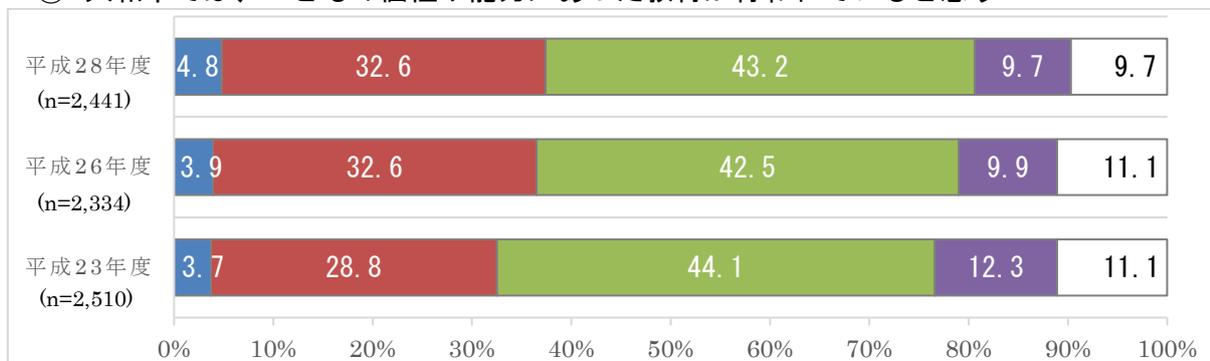


⑨ 大和市では、経済的に不安なく子育てができていると思う



『そう思う』は40.6%で、前回結果(39.5%)と比較して+1.1ポイントとなりました。

⑩ 大和市では、こどもの個性や能力にあった教育が行われていると思う



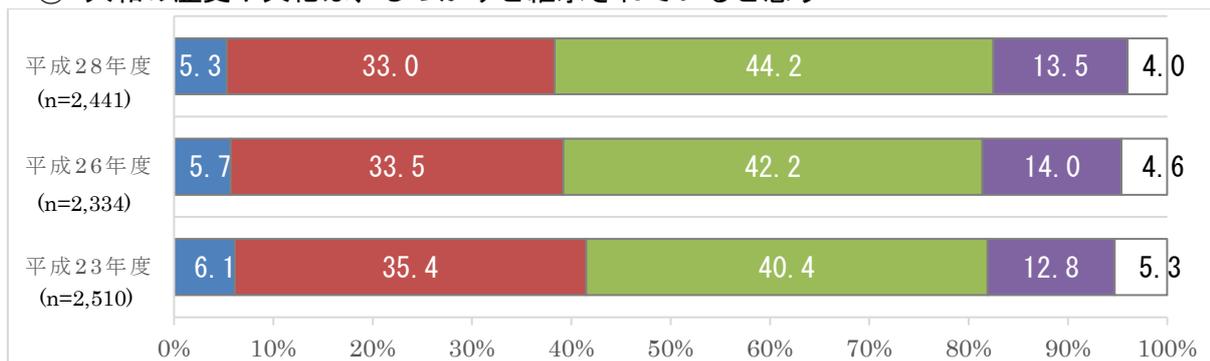
『そう思う』は37.4%で、前回結果(36.5%)と比較して+0.9ポイントとなりました。(中間目標値 35.0%)

⑪ あなたは、日常的にスポーツを楽しんでいると思う

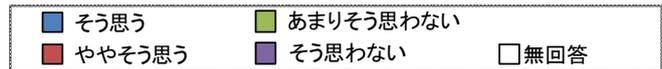


『そう思う』は34.2%で、前回結果(33.8%)と比較して+0.4ポイントとなりました。(中間目標値 37.1%)

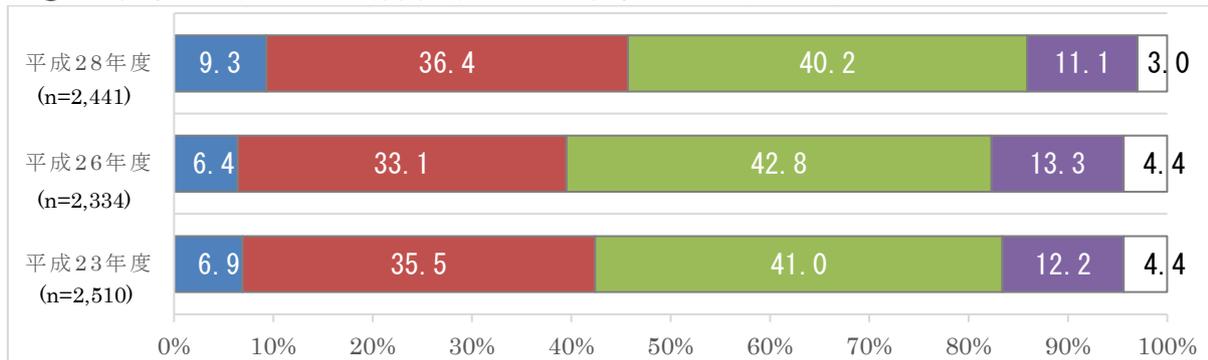
⑫ 大和の歴史や文化は、しっかりと継承されていると思う



『そう思う』は38.3%で、前回結果(39.2%)と比較して▲0.9ポイントとなりました。(中間目標値 42.5%)

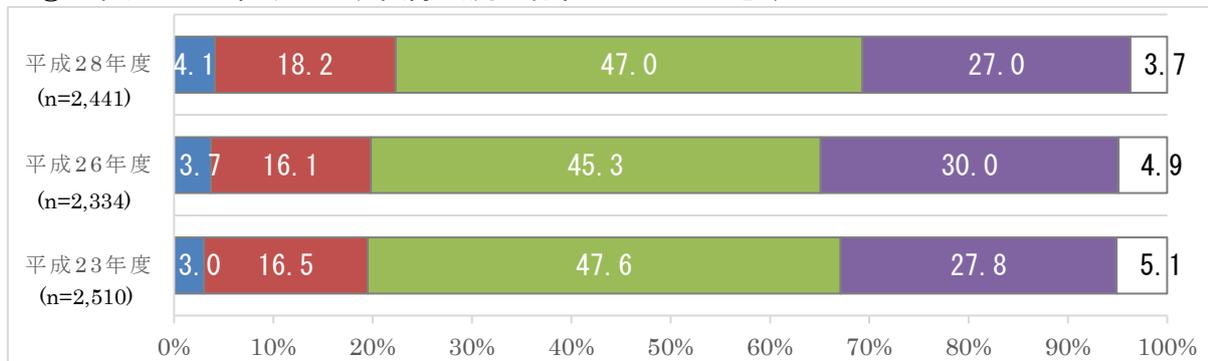


⑬ 大和市では、文化や芸術活動が盛んに行われていると思う



『そう思う』は45.7%で、前回結果(39.5%)と比較して+6.2ポイントとなりました。(中間目標値52.4%)

⑭ あなたの周りでは、国際交流が行われていると思う



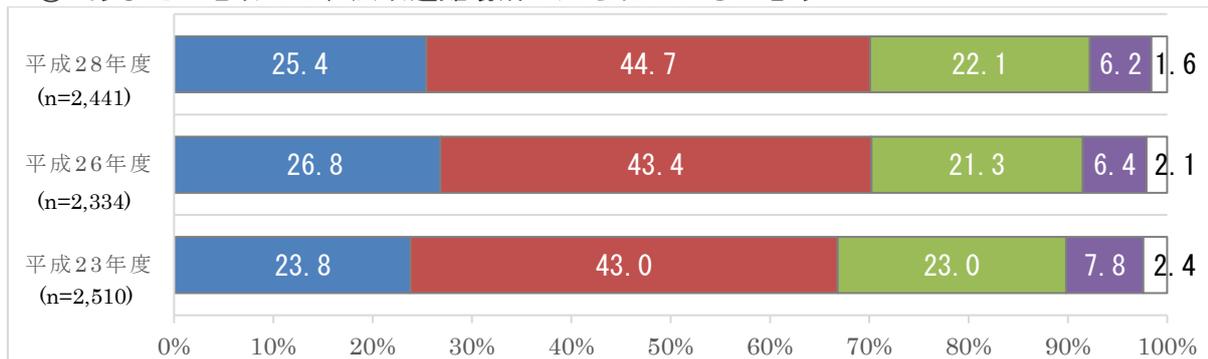
『そう思う』は22.3%で、前回結果(19.8%)と比較して+2.5ポイントとなりました。(中間目標値25.0%)

⑮ 以前に比べて、大和市の治安は良くなったと思う

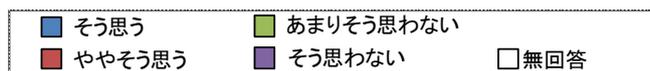


『そう思う』は55.8%で、前回結果(52.9%)と比較して+2.9ポイントとなりました。(中間目標値48.8%)

⑯ あなたの地域では、広域避難場所が知られていると思う



『そう思う』は70.1%で、前回結果(70.2%)と比較して▲0.1ポイントとなりました。(中間目標値69.8%)

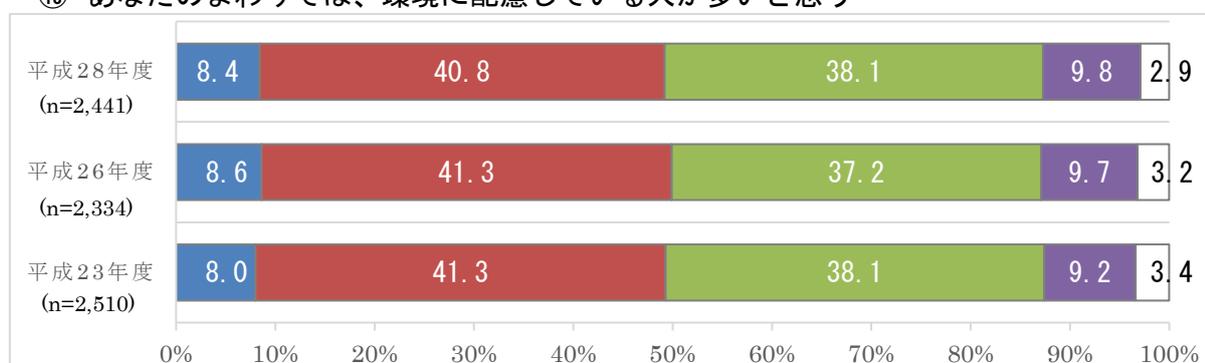


⑰ 以前に比べて、航空機による騒音が減ったと思う



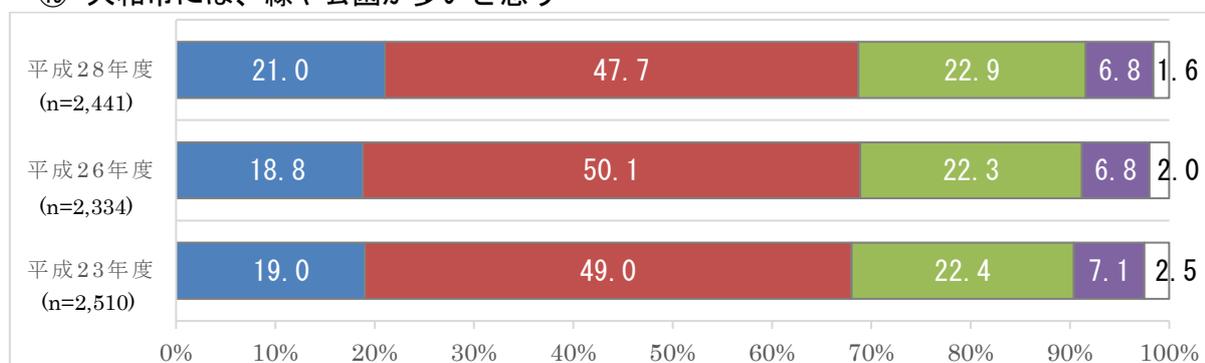
『そう思う』は39.9%で、前回結果(19.9%)と比較して+20.0ポイントとなりました。

⑱ あなたの周りでは、環境に配慮している人が多いと思う



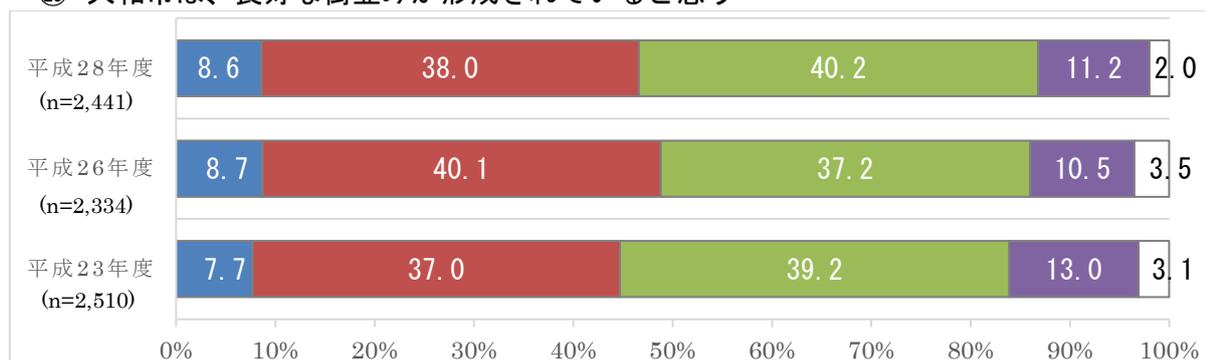
『そう思う』は49.2%で、前回結果(49.9%)と比較して▲0.7ポイントとなりました。(中間目標値62.0%)

⑲ 大和市には、緑や公園が多いと思う

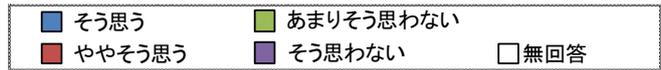


『そう思う』は68.7%で、前回結果(68.9%)と比較して▲0.2ポイントとなりました。(中間目標値69.5%)

⑳ 大和市は、良好な街並みが形成されていると思う



『そう思う』は46.6%で、前回結果(48.8%)と比較して▲2.2ポイントとなりました。(中間目標値50.0%)

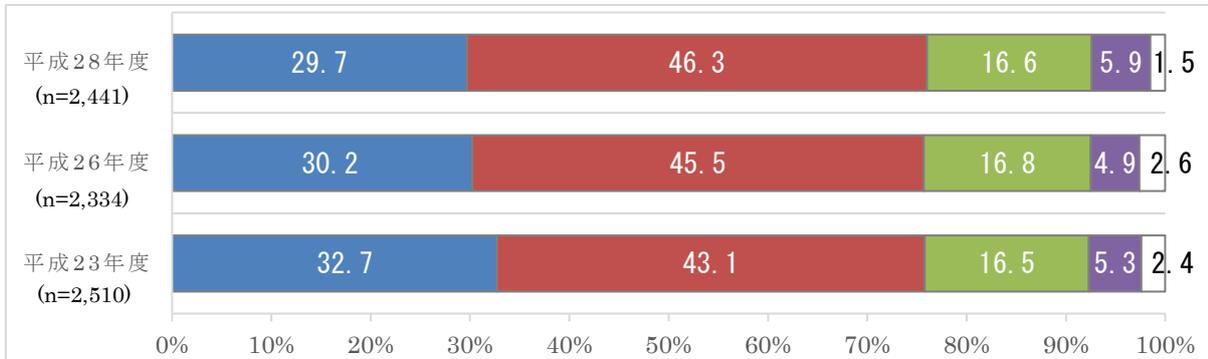


②①大和市は、買い物がしやすいと思う



『そう思う』は66.5%で、前回結果(72.4%)と比較して▲5.9ポイントとなりました。(中間目標値73.0%)

②②大和市は、公共交通機関を手軽に利用できると思う



『そう思う』は76.0%で、前回結果(75.7%)と比較して+0.3ポイントとなりました。(中間目標値80.0%)

②③あなたは、地域活動に参加していると思う

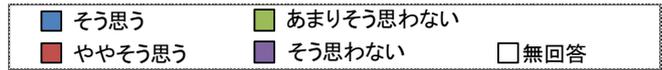


『そう思う』は24.4%で、前回結果(27.4%)と比較して▲3.0ポイントとなりました。(中間目標値31.0%)

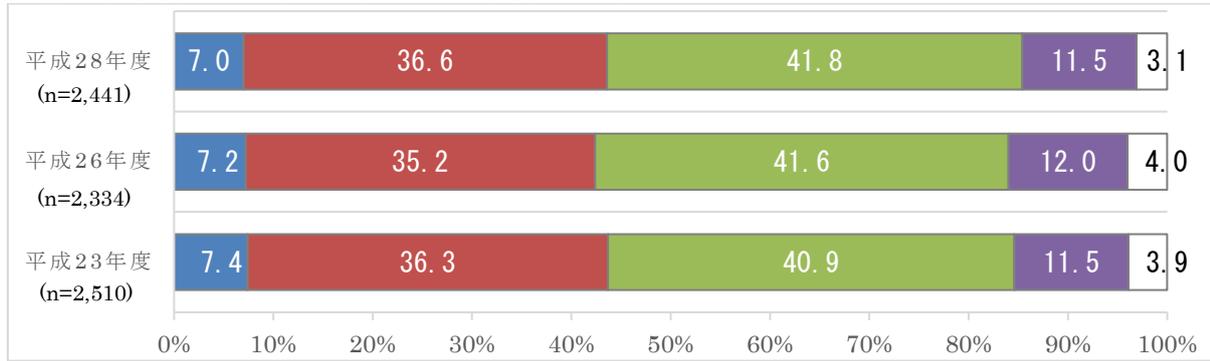
②④大和市では、市政情報（市が提供すべき情報）を手軽に入手できると思う



『そう思う』は62.2%で、前回結果(61.6%)と比較して+0.6ポイントとなりました。



⑫大和市役所は、市民の声が届く市役所であると思う



『そう思う』は43.6%で、前回結果(42.4%)と比較して+1.2ポイントとなりました。

⑬大和市では、市政への参加の機会が確保されていると思う

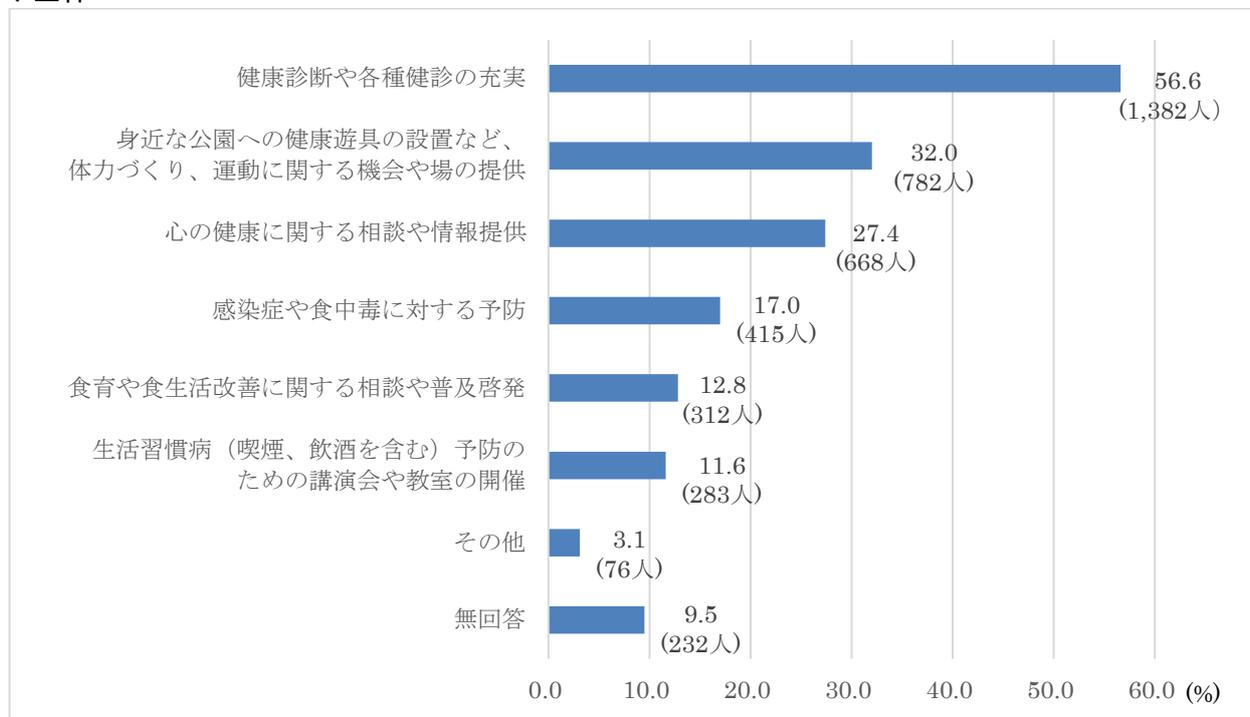


『そう思う』は38.5%で、前回結果(37.6%)と比較して+0.9ポイントとなりました。

(5) 市が重視すべき取り組みについて

- ① 心と身体の健康づくりに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「健康診断や各種検診の充実」(56.6%)が最も多くなり、次いで多い順に、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」(32.0%)、「心の健康に関する相談や情報提供」(27.4%)となっています。

◆経年比較

	平成28年度	平成26年度	平成23年度
健康診断や各種健診の充実	56.6%	53.4%	58.9%
身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供	32.0%	35.4%	31.6%
心の健康に関する相談や情報提供	27.4%	27.3%	31.6%
感染症や食中毒に対する予防	17.0%	17.7%	17.0%
食育や食生活改善に関する相談や普及啓発	12.8%	14.1%	17.5%
生活習慣病(喫煙、飲酒を含む)予防のための講演会や教室の開催	11.6%	13.3%	12.0%
その他	3.1%	3.2%	2.5%
無回答	9.5%	7.2%	5.9%

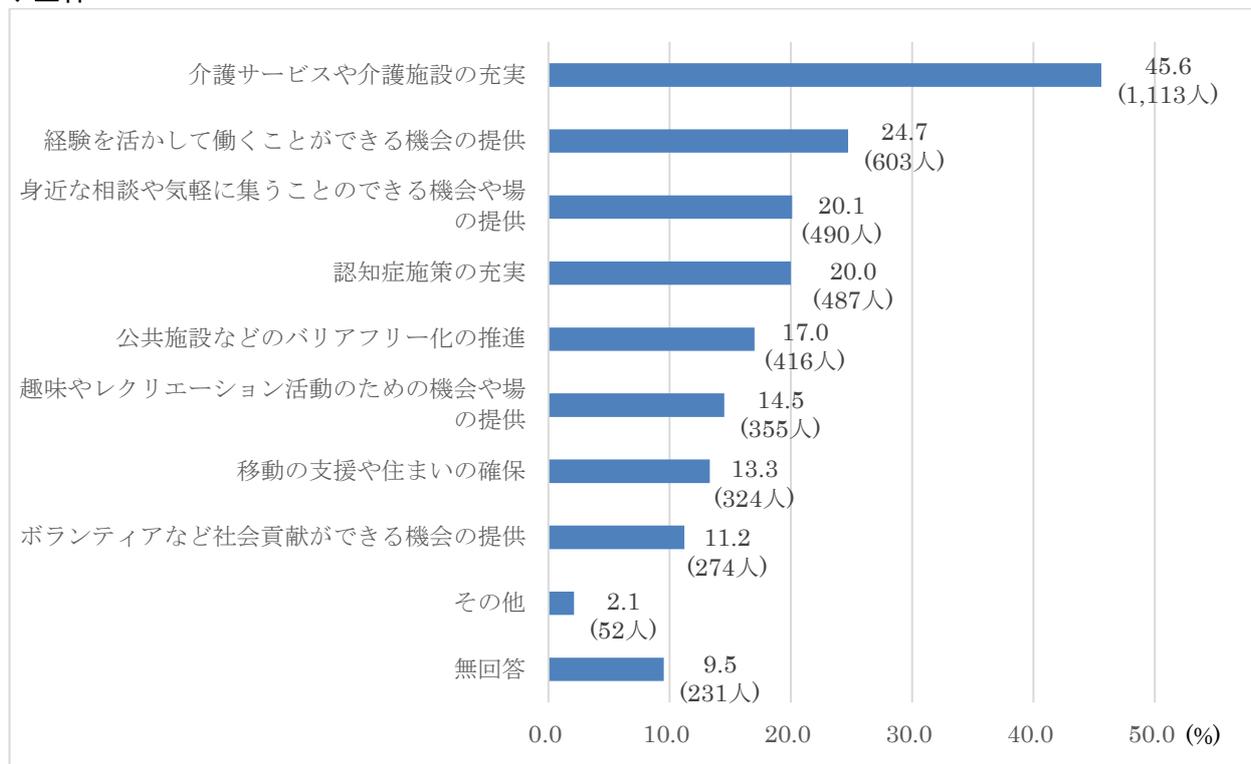
最高点

次点

上位3項目は過去の調査から変わっておらず、「健康診断や各種健診の充実」、「身近な公園への健康遊具の設置など、体力づくり、運動に関する機会や場の提供」、「心の健康に関する相談や情報提供」の順で、力を入れるべきという結果が出ています。

② 高齢の方や障がいのある方に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「介護サービスや介護施設の充実」(45.6%)が最も多くなり、次いで多い順に、「経験を活かして働くことができる機会の提供」(24.7%)、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」(20.1%)、「認知症施策の充実」(20.0%)となっています。

◆経年比較

	平成28年度	平成26年度	平成23年度
介護サービスや介護施設の充実	45.6%	50.5%	52.3%
経験を活かして働くことができる機会の提供	24.7%	32.0%	33.5%
身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供	20.1%	22.9%	22.3%
認知症施策の充実	20.0%	—	—
公共施設などのバリアフリー化の推進	17.0%	17.4%	17.6%
趣味やレクリエーション活動のための機会や場の提供	14.5%	15.2%	15.9%
移動の支援や住まいの確保	13.3%	16.6%	19.6%
ボランティアなど社会貢献ができる機会の提供	11.2%	14.8%	14.1%
その他	2.1%	2.2%	1.5%
無回答	9.5%	6.6%	5.4%

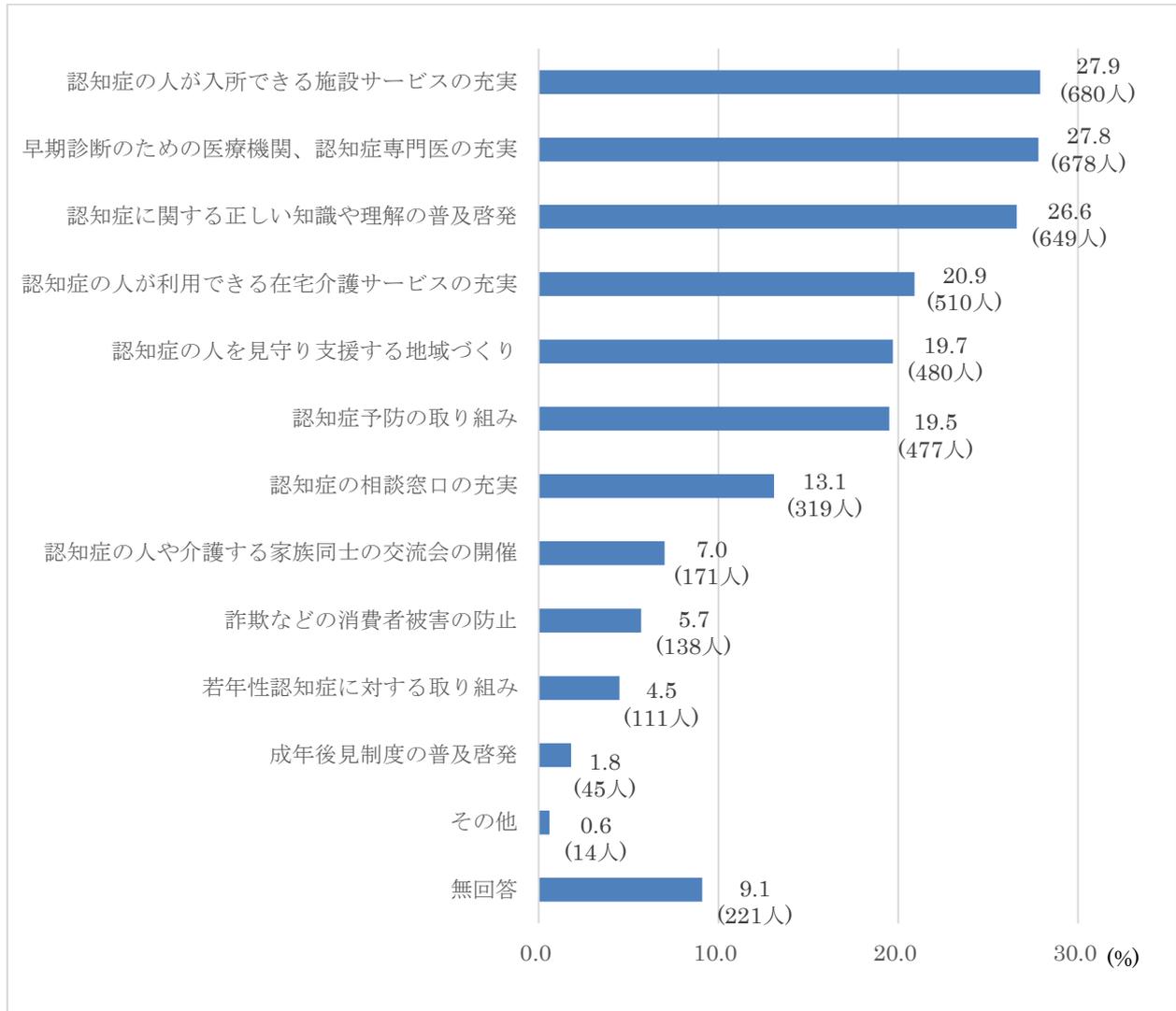
最高点

次点

上位3項目は過去の調査から変わっておらず、「介護サービスや介護施設の充実」、「経験を活かして働くことができる機会の提供」、「身近な相談や気軽に集うことのできる機会や場の提供」の順で、力を入れるべきという結果が出ています。また、「認知症施策の充実」を項目に追加したところ、20% (487人)の方が力を入れるべきと回答しました。

③ 認知症になっても住み慣れた地域で生活するためには、
 どのようなことが必要だと思いますか。(〇印は2つまで)

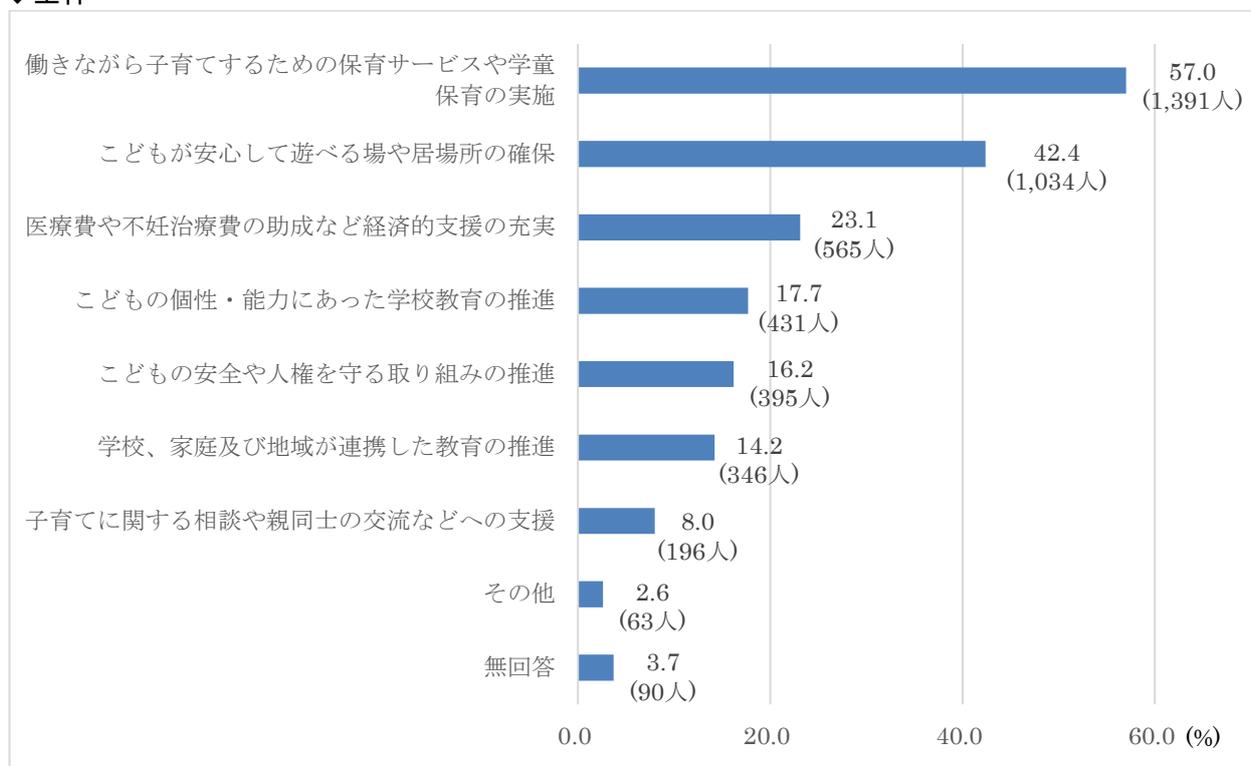
本市では、昨年9月に「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言をするなど、積極的に認知症施策の推進に取り組んでいく考えであることから、今回の調査では新たに認知症施策に関する設問を設けました。



「認知症の人が入所できる施設サービスの充実」が27.9% (680人) で最も多く、「早期診断のための医療機関、認知症専門医の充実」「認知症に関する正しい知識や理解の普及啓発」「認知症の人が利用できる在宅介護サービスの充実」を選択した人も20%を超えています。

④ 子育てに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」(57.0%)が最も多くなり、次いで多い順に、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」(42.4%)、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」(23.1%)となっています。

◆経年比較

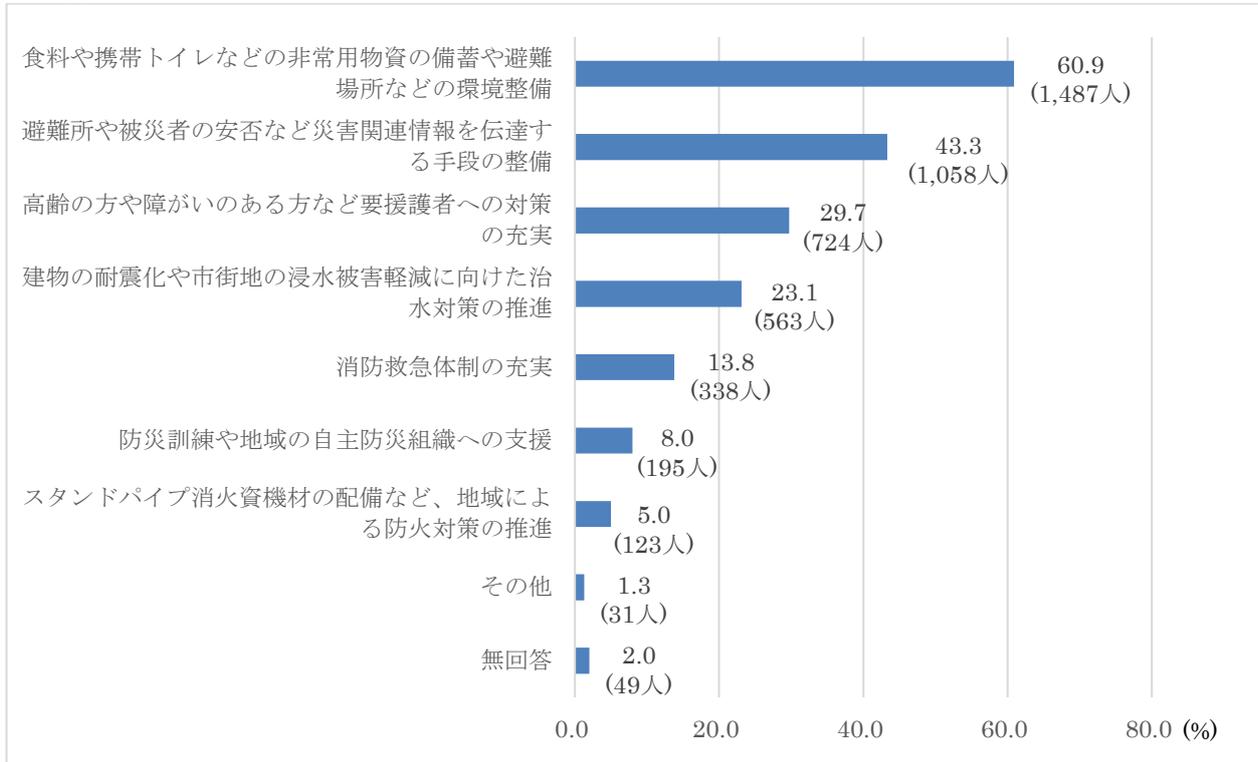
	平成28年度	平成26年度	平成23年度
働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施	57.0%	53.3%	48.7%
こどもが安心して遊べる場や居場所の確保	42.4%	39.5%	36.9%
医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実	23.1%	23.7%	31.7%
こどもの個性・能力にあった学校教育の推進	17.7%	15.0%	15.0%
こどもの安全や人権を守る取り組みの推進	16.2%	15.0%	16.3%
学校、家庭及び地域が連携した教育の推進	14.2%	12.3%	13.4%
子育てに関する相談や親同士の交流などへの支援	8.0%	9.2%	9.6%
その他	2.1%	2.5%	1.8%
無回答	9.5%	8.8%	7.9%

最高点 次点

上位3項目は過去の調査から変わっておらず、「働きながら子育てするための保育サービスや学童保育の実施」が1位、「こどもが安心して遊べる場や居場所の確保」が2位、「医療費や不妊治療費の助成など経済的支援の充実」が3位となっています。また、上位2項目については1,000人以上の方が選択しており、高いニーズがあるものと捉えられます。

⑤ 災害への対応力を高めるための取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備」(60.9%)が最も多くなり、次いで多い順に、「避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備」(43.3%)、「高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実」(29.7%)となっています。

◆経年比較

	平成28年度	平成26年度	平成23年度
食料や携帯トイレなどの非常用物資の備蓄や避難場所などの環境整備	60.9%	36.8%	—
(※食料や飲料水、毛布など非常用物資の備蓄)	—	—	38.2%
(※避難場所や避難路などの整備)	—	—	22.2%
避難所や被災者の安否など災害関連情報を伝達する手段の整備	43.3%	33.0%	44.9%
高齢の方や障がいのある方など要援護者への対策の充実	29.7%	25.7%	27.9%
建物の耐震化や市街地の浸水被害軽減に向けた治水対策の推進	23.1%	11.4%	18.2%
消防救急体制の充実	13.8%	11.8%	9.4%
防災訓練や地域の自主防災組織への支援	8.0%	6.9%	8.0%
スタンドパイプ消火資機材の配備など、地域による防火対策の推進	5.0%	4.4%	—
(※防犯カメラ・防犯灯の設置推進や防犯パトロールの充実)	—	44.1%	—
その他	1.3%	2.4%	1.1%
無回答	2.0%	6.3%	5.3%

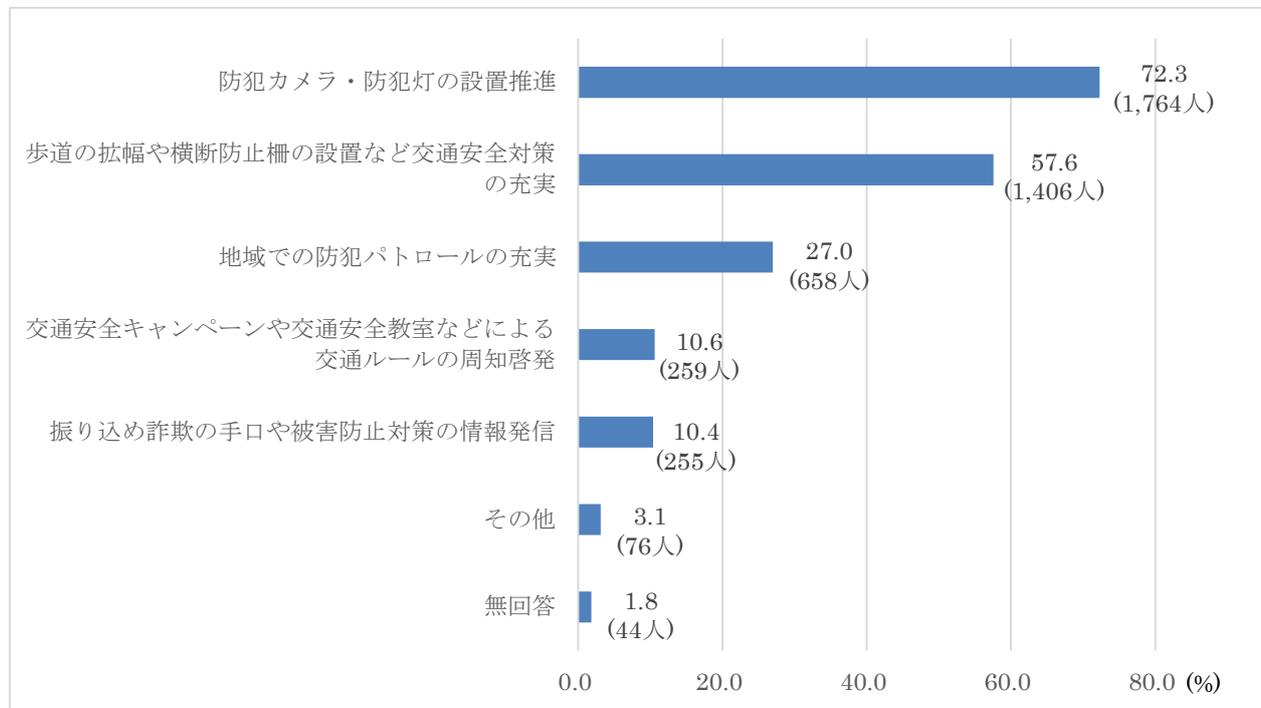
最高点

次点

前回の調査では「安全・安心を高めるための取り組み」として防災と防犯を合わせた設問内容としていましたが、防犯に関する項目が一つしかなく、回答に偏りが出た可能性についての指摘がありました。そのため、改めて防災のみの設問としたところ、平成23年度と似た傾向の結果が出ています。

⑥ 生活の安全性を高めるための取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印は2つまで)

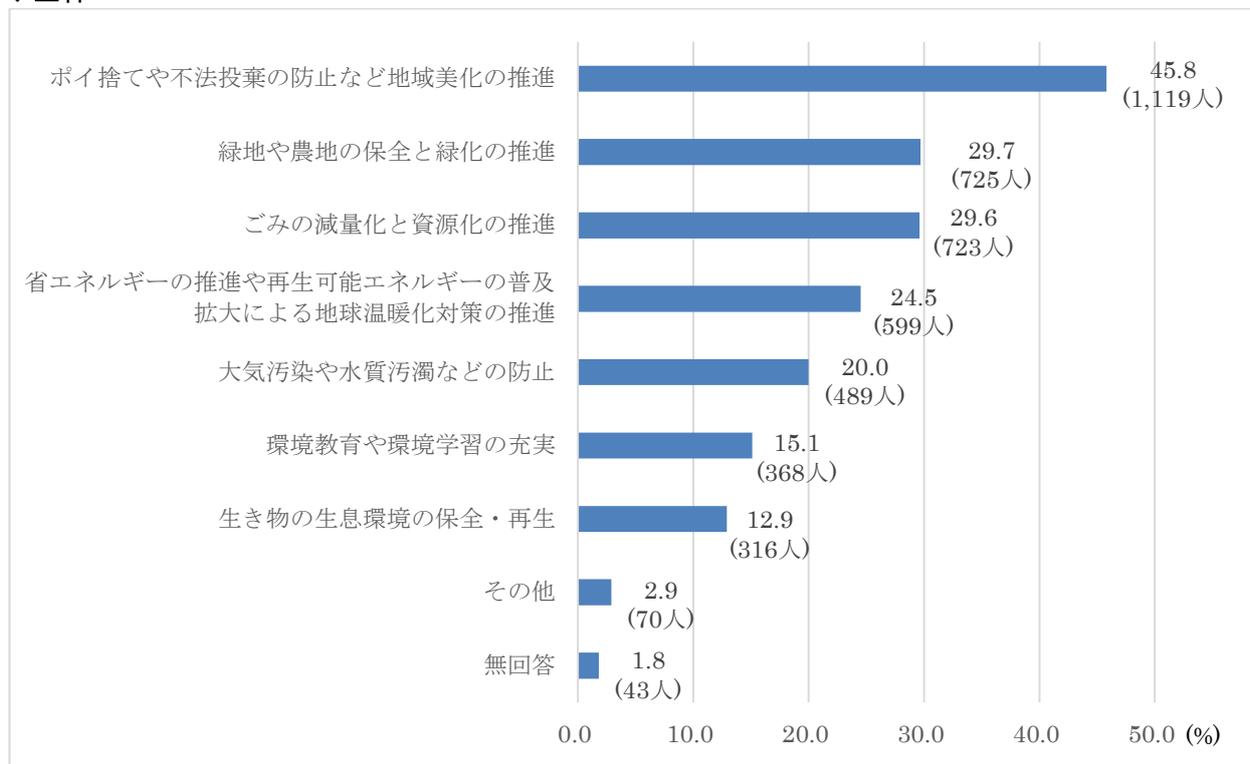
前回調査では「安全・安心を高めるための取り組み」として、防災と防犯を合わせた設問を設けていましたが、前問のとおり防災のみの設問に修正したことから、新たに「生活の安全性を高めるための取り組み」に関する設問を設けました。



「防犯カメラ・防犯灯の設置推進」が72.3% (1,764人) で最も多く、次いで多い順に「歩道の拡幅や横断防止柵の設置など交通安全対策の充実」(57.6%)、「地域での防犯パトロールの充実」(27.0%)となっています。

⑦ 環境に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」(45.8%)が最も多くなっています。次いで多い順に、「緑地や農地の保全と緑化の推進」(29.7%)、「ごみの減量化と資源化の推進」(29.6%)、「省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進」(24.5%)、「大気汚染や水質汚濁などの防止」(20.0%)となりました。

◆経年比較

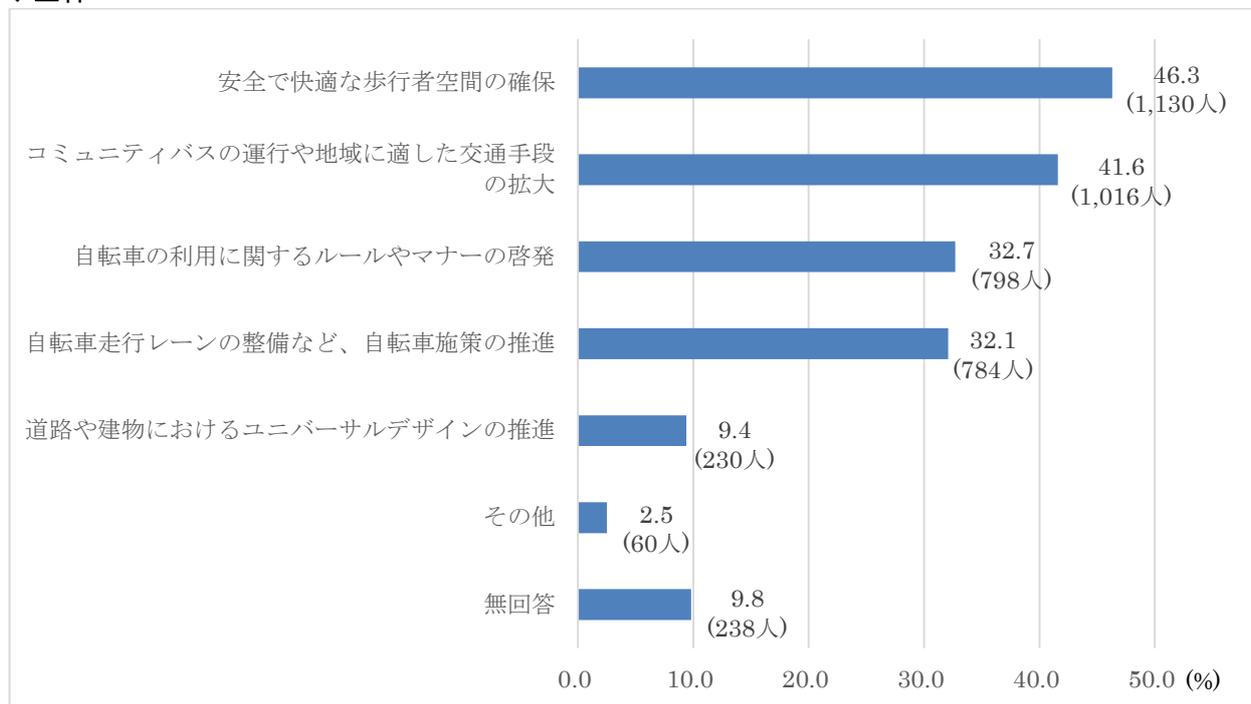
	平成28年度	平成26年度	平成23年度
ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進	45.8%	44.3%	48.4%
緑地や農地の保全と緑化の推進	29.7%	28.1%	29.2%
ごみの減量化と資源化の推進	29.6%	25.4%	32.1%
省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの普及拡大による地球温暖化対策の推進	24.5%	28.7%	18.5%
大気汚染や水質汚濁などの防止	20.0%	24.2%	25.1%
環境教育や環境学習の充実	15.1%	13.5%	14.7%
生き物の生息環境の保全・再生	12.9%	12.7%	12.1%
その他	2.1%	3.5%	3.0%
無回答	9.5%	2.4%	2.2%

最高点 次点

「ポイ捨てや不法投棄の防止など地域美化の推進」は過去2回の調査と同様に1位となっており、「緑地や農地の保全と緑化の推進」は2位に上昇しています。また、「ごみの減量化と資源化の推進」が3位に上昇しており、市民の方の関心が高まっているものと考えられます。

⑧ まちの快適さと利便性の向上に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇印は2つまで)

◆全体



「安全で快適な歩行者空間の確保」(46.3%)が最も多く、次いで多い順に、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」(41.6%)、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」(32.7%)、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」(32.1%)となっています。

◆経年比較

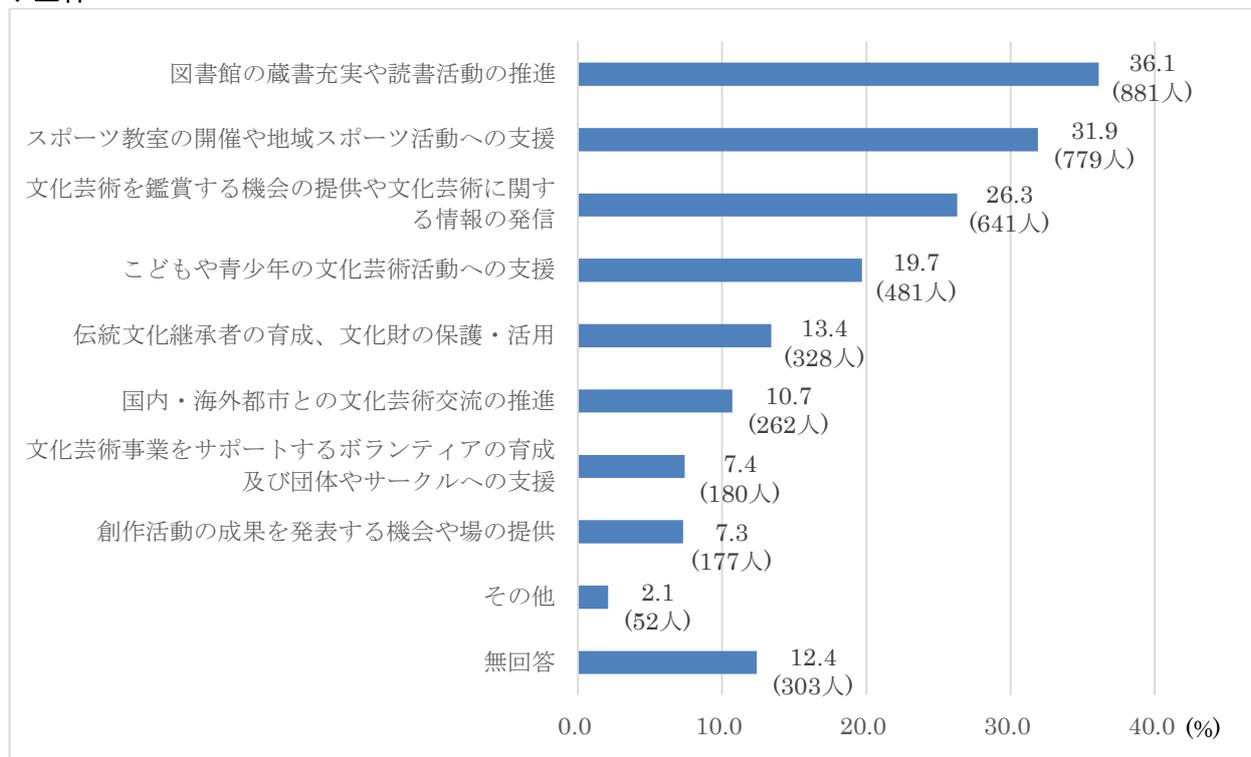
	平成28年度	平成26年度	平成23年度
安全で快適な歩行者空間の確保	46.3%	50.6%	37.2%
コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大	41.6%	42.2%	36.6%
自転車の利用に関するルールやマナーの啓発	32.7%	33.9%	36.4%
自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進	32.1%	41.2%	31.7%
道路や建物におけるユニバーサルデザインの推進	9.4%	9.8%	19.1%
その他	2.5%	3.0%	1.9%
無回答	9.8%	1.9%	1.8%

最高点 次点

上位の2項目は過去2回の調査と同様、「安全で快適な歩行者空間の確保」、「コミュニティバスの運行や地域に適した交通手段の拡大」となりました。また、「自転車の利用に関するルールやマナーの啓発」は今回3位(前回4位)で、「自転車走行レーンの整備など、自転車施策の推進」が今回4位(前回3位)でとなっています。

⑨ 文化芸術、読書、スポーツに関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」(36.1%)が最も多くなり、次いで多い順に、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」(31.9%)、「文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信」(26.3%)の順となっています。

◆経年比較

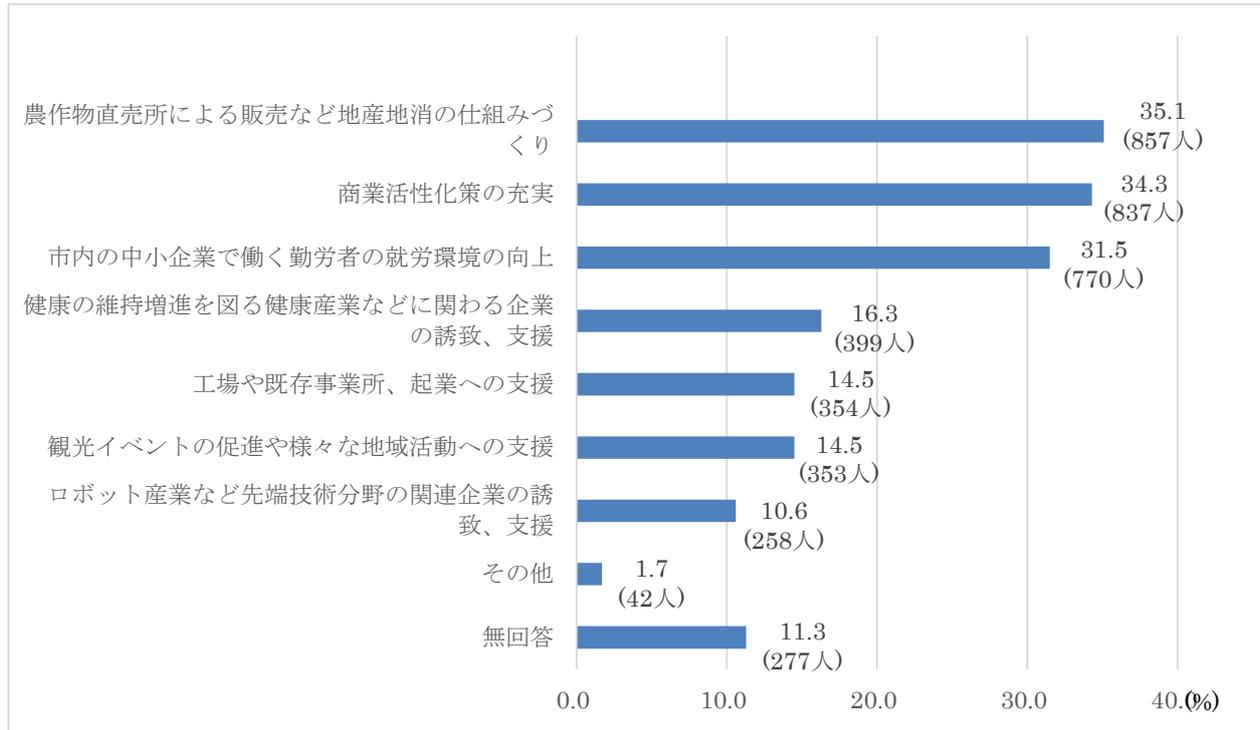
	平成28年度	平成26年度	平成23年度
図書館の蔵書充実や読書活動の推進	36.1%	35.9%	—
スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援	31.9%	33.6%	—
文化芸術を鑑賞する機会の提供や文化芸術に関する情報の発信	26.3%	28.7%	—
(※文化芸術を鑑賞する機会や場の提供)	—	—	47.8%
(※文化芸術に関する情報の提供)	—	—	19.2%
こどもや青少年の文化芸術活動への支援	19.7%	21.1%	30.3%
伝統文化継承者の育成、文化財の保護・活用	13.4%	14.8%	22.4%
国内・海外都市との文化芸術交流の推進	10.7%	12.4%	12.6%
文化芸術事業をサポートするボランティアの育成及び団体やサークルへの支援	7.4%	9.3%	—
(※文化芸術に関する団体やサークルへの支援)	—	—	11.5%
(※文化芸術事業をサポートするボランティアの育成)	—	—	8.6%
創作活動の成果を発表する機会や場の提供	7.3%	6.9%	11.4%
その他	2.1%	2.8%	2.2%
無回答	12.4%	5.7%	6.1%

最高点	次点
-----	----

「図書館の蔵書充実や読書活動の推進」、「スポーツ教室の開催や地域スポーツ活動への支援」が前回調査と同様に1位、2位となっています。また、その他の項目に関しても、前回と同様の傾向になっています。

⑩ 地域経済の活性化に関する取り組みとして、大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」(35.1%)が最も多くなっています。次いで多い順に、「商業活性化策の充実」(34.3%)、「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」(31.5%)となっています。

◆経年比較

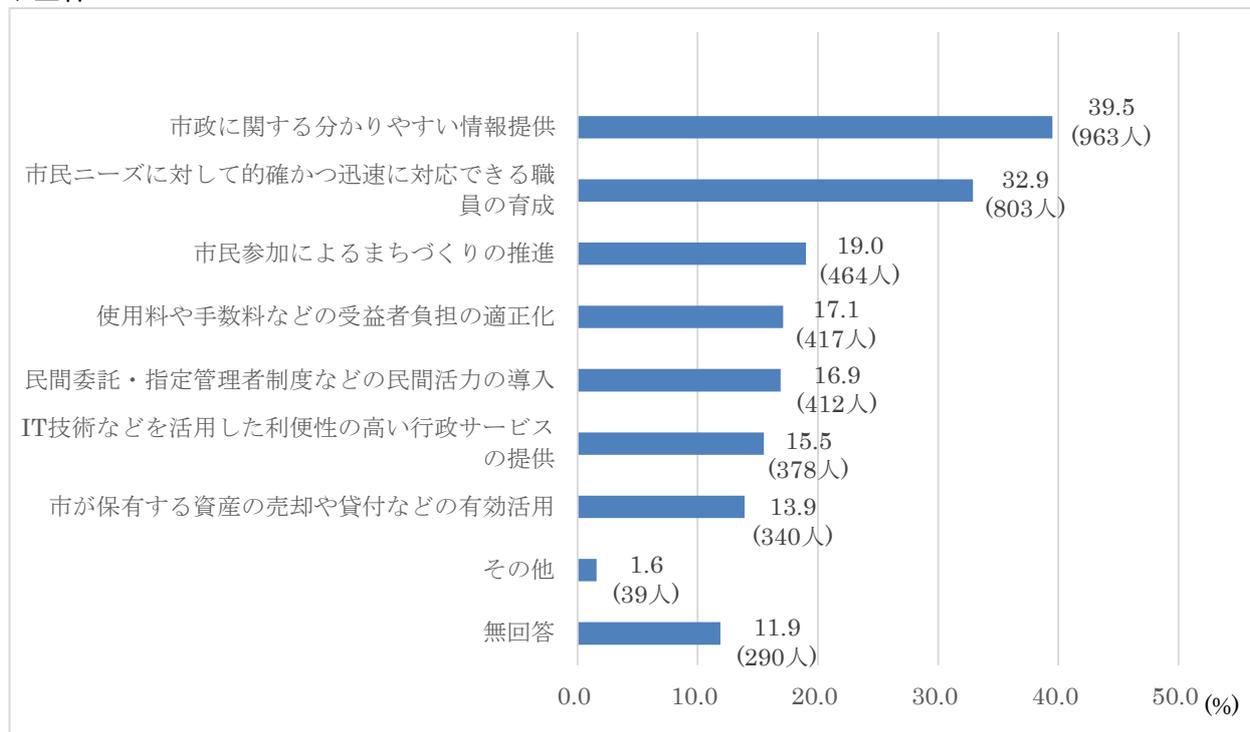
	平成28年度	平成26年度	平成23年度
農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり	35.1%	47.0%	41.8%
商業活性化策の充実	34.3%	43.8%	46.5%
市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上	31.5%	39.3%	38.8%
健康の維持増進を図る健康産業などに関わる企業の誘致、支援	16.3%	—	—
工場や既存事業所、起業への支援	14.5%	16.8%	22.2%
観光イベントの促進や様々な地域活動への支援	14.5%	19.7%	21.1%
ロボット産業など先端技術分野の関連企業の誘致、支援	10.6%	—	—
その他	1.7%	2.0%	2.2%
無回答	11.3%	3.8%	3.3%

最高点	次点
-----	----

前回調査と同様に、「農作物直売所による販売など地産地消の仕組みづくり」が1位、「商業活性化策の充実」が2位、「市内の中小企業で働く勤労者の就労環境の向上」が3位となっています。また、本市が特に力を入れている、健康施策とロボット施策に関する項目を加えたところ、「健康の維持増進を図る健康産業などに関わる企業の誘致、支援」が16.3%、「ロボット産業など先端技術分野の関連企業の誘致、支援」が10.6%となりました。

⑪ 行政経営に関する取り組みとして、
大和市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○印は2つまで)

◆全体



「市政に関する分かりやすい情報提供」(39.5%)が最も多くなりました。次いで多い順に、「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」(32.9%)、「市民参加によるまちづくりの推進」(19.0%)となっています。

◆経年比較

	平成28年度	平成26年度	平成23年度
市政に関する分かりやすい情報提供	39.5%	39.4%	42.9%
市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成	32.9%	33.4%	—
市民参加によるまちづくりの推進	19.0%	19.8%	24.9%
使用料や手数料などの受益者負担の適正化	17.1%	15.6%	18.4%
民間委託・指定管理者制度などの民間活力の導入	16.9%	16.2%	19.5%
IT技術などを活用した利便性の高い行政サービスの提供	15.5%	15.8%	17.2%
市が保有する資産の売却や貸付などの有効活用	13.9%	14.8%	18.1%
その他	1.6%	2.0%	2.2%
無回答	11.9%	10.3%	8.5%

最高点

次点

前回と同様に、「市政に関する分かりやすい情報提供」が1位、「市民ニーズに対して的確かつ迅速に対応できる職員の育成」が2位、「市民参加によるまちづくりの推進」が3位となっています。